

水中写真と光「ストロボ vs ライト」

■ストロボの光量とLEDライトの光量の違い

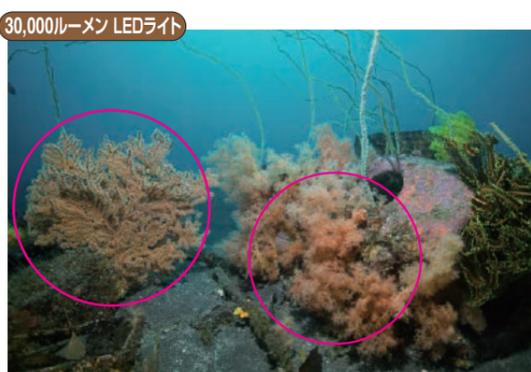
▼YS-D2と30,000ルーメンのライトを、カメラを同条件(シャッタースピード1/90秒 F4)に設定して、フル発光で撮影



一般的に、ストロボの光量はGN(ガイドナンバー)、LEDライトの光量はlm(ルーメン)で表しますが、単位が異なる為これではどちらが明るいかわかりません。
 実はYS-D2の場合、ルーメン値に換算すると最大で約509,600ルーメン相当の光を放つ事ができますので、30,000ルーメンのライトといえどストロボの光量には到底かないません。
 また、ストロボは瞬間的に光る性質があり、短い時間で多くの光量をカメラに届ける事ができます。対してライトはシャッタースピードが早くなればなるほど、カメラが取り込める光の量は減少してしまいます。

■ストロボとLEDライトの演色性の違い

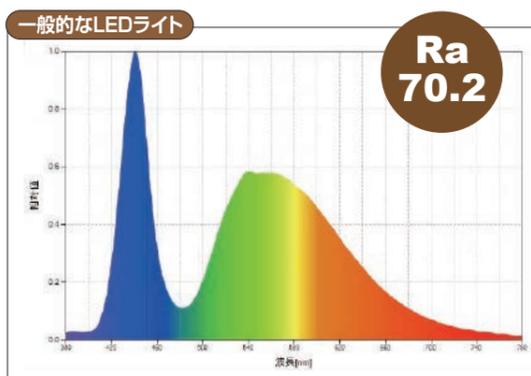
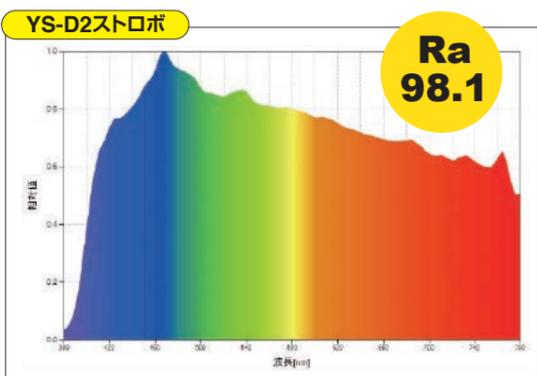
▼YS-D2と30,000ルーメンライトをほぼ同じ明るさになるように撮影(カメラは同条件)



ストロボはキセノン管というチューブに高電圧をかける事で発光します。
 キセノン管から発せられる光は太陽光に極めて近い性質をもち、色再現性に優れています。色の再現性の指標である平均演色評価数(Ra)はほぼ100となります。対して一般的なLEDライトはRa70前後のものが多く、暖色の色再現性に劣ります。

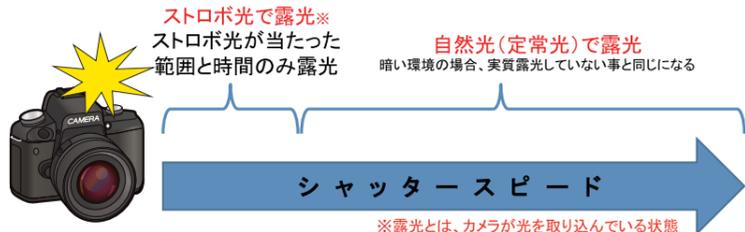
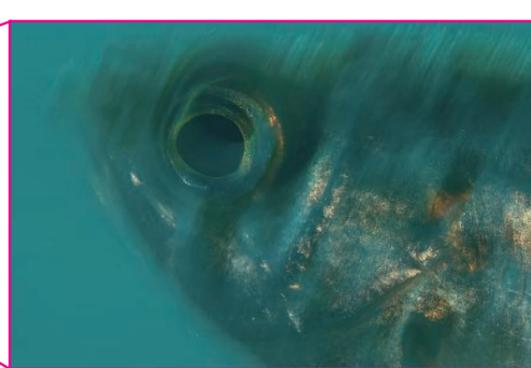
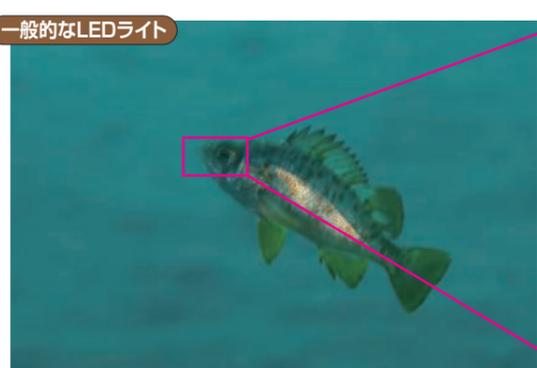
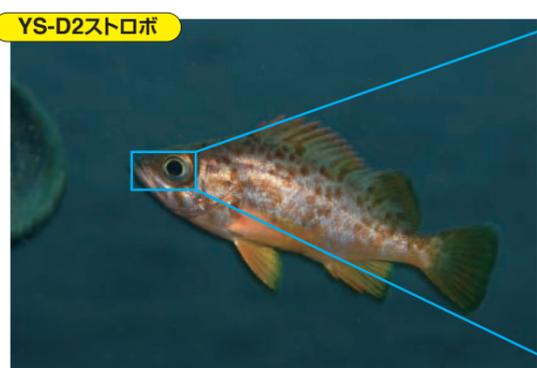
※Ra100は、自然光が当たったときと同様の色を再現したとき

▼ストロボ光とLEDライトのスペクトル(分光分布)比較



■ストロボの瞬間光で被写体を写し止める

▼ブレの恐れのある、シャッタースピード1/10秒でストロボとライトで撮り比べ

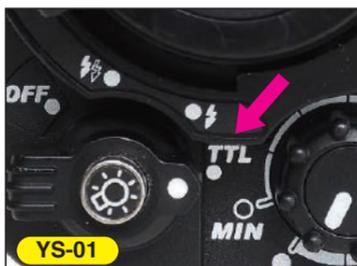


ストロボは数百分の一秒から数万分の一秒という大変短い時間で発光しています。従って、スローシャッターで撮影をした場合でも、ストロボ光が当たっている部分(被写体)は、ストロボの発光時間でシャッターを切っているのと同じ事になります。※

対してライトは、シャッタースピードと同じ時間、被写体に光が当たっていますのでシャッタースピード以上のブレ軽減効果はありません。しかし、前述の通りブレを防ぐ為にシャッタースピードを上げるとカメラが取り込める光の量は減少してしまいます。

※光に敏感な被写体の場合、画像に残像が残る場合があります。

■ストロボは TTL で簡単撮影



とはいえ、「ストロボってなんだかよくわからない、難しそう」と思っている方が多いのも事実。
 ですがそんなことはありません。SEA&SEAのストロボはTTL自動調光機能という、自動的に適正な明るさで発光する機能が全てのストロボに搭載されています。
 そしてSEA&SEAのストロボは操作がシンプルで操作箇所も最小限。モードスイッチをTTLもしくはDS-TTLの位置に合わせるだけ。(写真の矢印部分)
 慣れてきたらストロボの光量調節ダイヤルやカメラの調光補正機能を使って微調整も可能です。

ワンポイントアドバイス

- ・カメラの内蔵ストロボの設定は「強制発光」にしましょう。
- ・カメラのISOの数値をオートにせず、100~400の間で設定してみましょう。